

建設系廃プラデータカード

L4	ABS-01	名称	透明パイプ
▶ABS樹脂(アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン樹脂)を原料に作られたパイプ。 ▶樹脂の中でも強度が高く耐衝撃性に優れ、耐薬品性にも優れるが、耐候性に劣る。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法					
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等	再資源化	ケミカル	マテリアル
ABS	硬質	熱可塑性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無	★	★	★	★	★	★
			■ 設備	□ 袋状	■ 端材・余剰材	□ 少	★	★	★	★	★	★
			■ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮設材	□ 多	★	★	★	★	★	★
			□ 土木	□ 板状	■ 使用済廃材		★	★	★	★	★	★
			■ 解体	■ 管(筒)状	■ (養生材・容器等)		★	★	★	★	★	★
			□ その他	□ 成型品			★	★	★	★	★	★

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	断熱工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事 ●
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事



望ましく
資源循環
望ましい

★: 該当
☆: 条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

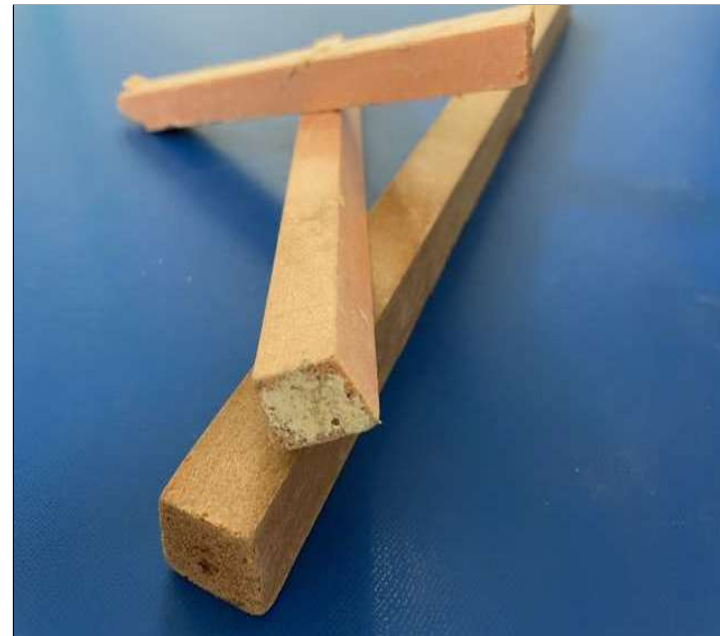
排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【再資源化等】 ▶高度熱回収(RPF・フラフ)、燃料化の原料として利用可能。(但し、約3,000～4,000 kcal/kg程度と燃焼力コリーが低いこと、及び硬質プラであることから、施設によっては適さないことがあるので要相談)

建設系廃プラデータカード

L4	ABS-02-1	名称	目地棒 (異物付着なし)
▶コンクリートに目地(小さな溝)を作るために使われる断面が台形のプラスチック製の棒。ABS・PS・PVC樹脂製のものがある。 ▶発泡剤を添加したABS樹脂の製品は、軽量で耐衝撃性に優れPSやPVC樹脂製のものよりも割れにくい。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法						
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等		再資源化		
ABS PS PVC	硬質	熱可塑性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無			少	燃料化	高度熱回収	ケミカル	マテリアル
			■ 設備	□ 袋状	■ 端材・余剰材	仮設材							
			■ 改修	□ シート・フィルム状	使用済廃材 (養生材・容器等)								
			■ 土木	□ 板状									
			■ 解体	□ 管(筒)状			多						
□ その他	■ 成型品												

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事 ●
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工 ●



望ましい
資源循環
望ましい

★: 該当
☆: 条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【再資源化等】 ▶高度熱回収(RPF・フラフ)、燃料化の原料として利用可能。(但し、約3,000~4,000 kcal/kg程度と燃焼力ロリーが低いこと、及び硬質プラであることから、施設によっては適さないことがあるので要相談。)

建設系廃プラデータカード

L4	ABS-02-2	名称	目地棒 (異物付着あり)
▶床や壁の接合部分に使われる棒状の部材の目地棒にはABS・PS樹脂製のもの、PVC樹脂製のものがある。 ▶使用済みの目地棒の場合、コンクリートなどの異物付着が少なくない。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法							
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等		再資源化			
ABS PS PVC	硬質	熱可塑性	☐ 新築	☐ 紐状・網状	☐ 梱包材・緩衝材	☐ 無			↑	↓	★	☆	☆	☆
			☒ 設備	☐ 袋状	☐ 端材・余剰材	☐ 少								
			☒ 改修	☐ シート・フィルム状	☐ 仮設材	☐ 多								
			☐ 土木	☐ 板状	☐ 使用済廃材 (養生材・容器等)									
			☒ 解体	☐ 管(筒)状										
			☐ その他	☒ 成型品										

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事 ●	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事 ●
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工 ●



望ましい → 望ましい
 資源循環

★: 該当
 ☆: 条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【ケミカルリサイクル】 ▶コンクリートなどの異物付着が少なければ、コークス炉・ガス化原材料として利用可能。 【再資源化等】 ▶コンクリートの付着の程度が少ないことを条件に、排熱利用施設での利用可能。 【単純焼却】 ▶コンクリートの付着の程度が少ないことを条件に、単純焼却施設への搬入可能。

建設系廃プラデータカード

L4	ABS-03	名称	便 座
▶耐衝撃性に優れたABS樹脂を使った便座。 ▶耐候性には劣るABS製の製品は、便座などの屋内使用に向く。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法					
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等	再資源化	ケミカル	マテリアル
ABS	硬質	熱可塑性	☐ 新築	☐ 紐状・網状	☐ 梱包材・緩衝材	☐ 無						
			☒ 設備	☐ 袋 状	☐ 端材・余剰材	■ 少 ↑ ↓ 多						
			☒ 改修	☐ シート・フィルム状	☐ 仮 設 材							
			☐ 土木	☐ 板 状	■ 使用済廃材 (養生材・容器等)							
			☐ 解体	☐ 管(筒)状								
			☐ その他	☒ 成型品								
★	★	★	☆	☆	★							

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	断熱工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事 ●
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事



望ましく 望ましい
 資源循環
 ★: 該当
 ☆: 条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【再資源化等】 ▶高度熱回収(RPF・フラフ)、燃料化の原料として利用可能。(但し、約3,000～4,000 kcal/kg程度と燃焼力ロリーが低いこと、及び硬質プラであることから、施設によっては適さないことがあるので要相談)

建設系廃プラデータカード

L4	ABS-04	名称	雨樋(横樋)
▶屋根の端に沿って設置されている雨樋のことで軒樋ともいう。 ▶雨樋には縦樋と横樋があり、耐衝撃性に優れたABS樹脂製は横樋に多く、屋根に対し垂直方向に取り付けられた縦樋には塩ビ(PVC)製のものが多い。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法					
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等		再資源化	
ABS	硬質	熱可塑性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無			★	★	★	☆
			□ 設備	□ 袋状	■ 端材・余剰材	□ 無						
			■ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮設材	■ 少						
			□ 土木	□ 板状	使用済廃材	□ 多						
			■ 解体	□ 管(筒)状	■ (養生材・容器等)							
			□ その他	■ 成型品								

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事 ●
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましい → 望ましい
 資源循環

★: 該当
 ☆: 条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【マテリアルリサイクル】 ▶汚れが少なく、量が集まればマテリアルリサイクルが可能。 【再資源化等】 ▶高度熱回収(RPF・フラフ)、燃料化の原料として利用可能。(但し、約3,000~4,000 kcal/kg程度と燃焼カロリーが低いこと、及び硬質プラであることから、施設によっては適さないことがあるので要相談)

建設系廃プラデータカード

L4	ABS-05	名称	電線ボビン (非塩ビ)
▶溶接材料、電線、送電・通信用ケーブル、光ファイバなど紐状のものを巻き取る枠(ドラム・スプール・コイル・リール・巻枠)でプラスチック樹脂で製造したもの。 ▶耐衝撃性:PVC(割れやすい)<PS(硬いが劣る)<PP(比較的優れている)<ABS(とても優れている)			

廃棄物(樹脂)情報				発生情報				処分方法					
樹脂区分	分類	熱区分		工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等	再資源化		
ABS	PP	硬	熱可塑性	☒ 新築 ☒ 設備 ☐ 改修 ☐ 土木 ☐ 解体 ☐ その他	☐ 紐状・網状 ☐ 袋 状 ☐ シート・フィルム状 ☐ 板 状 ☐ 管(筒)状 ☒ 成型品	☒ 梱包材・緩衝材 ☐ 端材・余剰材 ☐ 仮 設 材 ☐ 使用済廃材 (養生材・容器等)	☒ 無 ☐ 少 ☐ 多	★	★	★	☆	☆	☆
PS	PVC	質											

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事 ●	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事 ●
11	シール工事	32	昇降工事 ●
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事 ●
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事



望ましく
資源循環
望ましい

★:該当
☆:条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【マテリアルリサイクル】 ▶PP製のものが大量にまとまれば、雑プラとしてマテリアルリサイクル可能。(最低フレコン1個) 【再資源化等】 ▶高度熱回収(RPF・フラフ)、燃料化の原料として利用可能。(但し、約3,000~4,000 kcal/kg程度と燃焼力ロリーが低いこと、及び硬質プラであることから、施設によっては適さないことがあるので要相談)